

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 7 月 5 日(2024.7.5)

【公開番号】特開 2022-190347(P2022-190347A)
【公開日】令和 4 年 12 月 26 日(2022.12.26)
【年通号数】公開公報(特許)2022-238
【出願番号】特願 2021-98621(P2021-98621)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 315 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和 6 年 6 月 27 日(2024.6.27)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

遊技の進行を制御する主制御手段と、前記主制御手段からの信号に応じた演出を制御する演出制御手段とを備えた遊技機において、
始動条件の成立に基づいて判定情報を保留記憶として記憶可能な記憶手段と、
前記判定情報に基づき演出図柄の変動表示を実行する変動表示実行手段と、
所定の事象を検出するための検出手段と、
前記検出手段は、
遊技媒体を検出するための第 1 検出手段と、
所定の異常を検出するための第 2 検出手段と、を含み、
前記遊技機への電源供給が開始されると表示手段に所定画像を表示した後に前記演出図柄を表示可能であり、
前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記主制御手段と前記第 2 検出手段とが非接続状態である場合、異常報知を実行可能であり、
前記遊技機への電源供給中において前記主制御手段と前記第 2 検出手段とが非接続状態となった場合、異常報知を実行可能であり、
前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記主制御手段と前記第 2 検出手段とが非接続状態であることに基づく異常報知は、前記表示手段に前記所定画像が表示された後に開始され、
前記遊技機への電源供給中において前記主制御手段と前記第 2 検出手段とが非接続状態となったことに基づく異常報知の実行中に、前記主制御手段と前記第 2 検出手段とが接続状態となった場合、所定期間にわたって当該異常報知が継続され、
前記保留記憶の各々に対応する保留情報を前記表示手段の表示領域に表示することが可能であり、
前記変動表示において前記演出図柄が仮停止しているときに、前記演出図柄を構成する所定要素、及び、前記保留情報を演出動作させることが可能であり、
前記保留情報が演出動作を行っている前記演出図柄の仮停止中であって所定数よりも 3 つ多い特定数の前記保留情報の表示中に、前記保留記憶が前記所定数となる前記変動表示の開始時信号を受信した場合、前記変動表示を開始可能であり、
前記特定数よりも 1 つ少ない数の前記保留情報を表示することなく前記所定数の前記保

30

40

50

留情報を表示可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記課題を解決するため、本発明の遊技機（１）によれば、遊技の進行を制御する主制御手段と、前記主制御手段からの信号に応じた演出を制御する演出制御手段とを備えた遊技機において、始動条件の成立に基づいて判定情報を保留記憶として記憶可能な記憶手段（主制御手段１１０）と、前記判定情報に基づき演出図柄の変動表示を実行する変動表示実行手段（演出制御手段１３０）と、所定の事象（始動入賞、磁気、電波等）を検出するための検出手段（始動口検出スイッチ、磁気検出センサ、電波検出センサ等）と、前記検出手段は、遊技媒体を検出するための第１検出手段（始動口検出スイッチ等）と、所定の異常（磁気異常、電波異常）を検出するための第２検出手段（磁気検出センサ、電波検出センサ等）と、を含み、前記遊技機への電源供給が開始されると前記表示手段に所定画像（初期画面）を表示した後に前記演出図柄を表示可能であり、前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記第１制御手段と前記第２検出手段とが非接続状態（コネクタ抜け、断線等）である場合、異常報知（断線報知、磁気異常報知、電波異常報知等）を実行可能であり、前記遊技機への電源供給中において前記第１制御手段と前記第２検出手段とが非接続状態（コネクタ抜け、断線等）となった場合、異常報知（磁気異常報知、電波異常報知等）を実行可能であり、前記遊技機への電源供給が開始されたときに前記第１制御手段と前記第２検出手段とが非接続状態であることに基づく異常報知は、前記表示手段に前記所定画像が表示された後に開始され、前記遊技機への電源供給中において前記第１制御手段と前記第２検出手段とが非接続状態となったことに基づく異常報知の実行中に、前記第１制御手段と前記第２検出手段とが接続状態となった場合、所定期間（３０秒経過、電源ＯＦＦまで等）にわたって当該異常報知が継続され、前記保留記憶の各々に対応する保留情報を前記表示手段の表示領域に表示することが可能であり、前記変動表示において前記演出図柄が仮停止しているときに、前記演出図柄を構成する所定要素（棒状画像ＳＧ、図柄エフェクト画像ＺＥなど）、及び、前記保留情報を演出動作させることが可能であり、前記保留情報が演出動作を行っている前記演出図柄の仮停止中であって所定数よりも３つ多い特定数の前記保留情報の表示中に、前記保留記憶が前記所定数となる前記変動表示の開始時信号（開始時信号としての第１特図保留数指定コマンド、特別図柄指定コマンド、特図変動パターン指定コマンドなど）を受信した場合、前記変動表示を開始可能であり、前記特定数よりも１つ少ない数の前記保留情報を表示することなく前記所定数の前記保留情報を表示可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50